

## ダムワーキンググループ（ダムWG）の概要

### 1．目的

河川管理者側から提出された、5ダム（川上ダム、丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、余野川ダム）およびこれに関連する調査検討(中間報告)に基づき、具体的な検討を行います。

### 2．ダムWGのメンバー

淀川水系流域委員会の委員から構成されます。（WG委員名簿）

### 3．体制

ダムWG内には、個別のダムの検討を行うため、3つのサブWG(3ダムサブWG、川上ダムサブWG、余野川ダムサブWG)、およびダムWG全体の調整を図るためにコアWGを設置しています。なお、3ダムサブWGは関連性の深い丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発に係る検討を行います。（サブWG委員名簿）

### 4．ダムWGでの審議

ダムWG（サブWGを含む）では、各WGのメンバーが中心となって審議を進めますが、淀川水系流域委員会委員は、WGのメンバーであるなしに関わらず、いずれのWGにもメンバーと同格の立場で出席し、審議に加わることができます。

### 5．情報公開

ダムWG（サブWGを含む）は公開されます。

配布資料：ホームページ上で随時公開します

議事内容：ダムWGについては、結果報告、結果概要、議事録を随時公開します。

サブWGについては、結果報告、結果概要を随時公開します。

一般傍聴：傍聴いただけることを基本的とします。ただし、会場の都合で人数を限定させて頂くこと、また運営の都合上傍聴頂けないことがあります。